

受検番号	
------	--

氏名	
----	--

※

--

----- 切り取らないこと -----

令和8年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

※

--

高等学校 商業 解答例

1 18点	(1)	① ウ	② ケ	③ シ				
		④ ク	⑤ サ	⑥ イ				
	(2)	① それぞれのデータの大きさを棒の長さであらわして比較するとき用いられるグラフ。						
2 16点	(2)	② それぞれのデータが時間的変化（時系列の推移）であらわされているときに用いられるグラフ。						
		③ データ全体を円であらわし、それぞれのデータが全体のなかでどれくらいの割合を占めるのかを扇型の角度であらわすときに用いられるグラフ。						
	(1)	エ	→	ア	→	ウ	→	イ
3 11点	(2)	有形財とは、農畜水産物や天然資源、文具、洋服、家電製品（テレビ・洗濯機・冷蔵庫）など形があるもののことをいい、無形財とは、家事代行や旅行、保険、教育、美容、介護などのサービスのようないろんな形がないもののことをいう。						
	(1)	清潔さを保つこと		機能的であること		周りとの調和をとること		
4 17点	(2)	お辞儀の種類のひとつに会釈があり、廊下ですれ違うときや部屋の入退室のときなどに使う。						
	(1)	ア	6, 432, 000	イ	101, 000	ウ	9, 000	
	(2)	個別原価計算は、種類の異なる特定の製品を個別的に生産する製造業で適用される。一方、総合原価計算は、同じ種類又は異なる製品を連続して大量生産する製造業で適用される。						
5 19点	(3)	将来の一定期間において必要とされる利益の目標額を設定し、これを達成するための原価や利益がどのように増減するか明らかにする資料。						
	(1)	① 企業が適正な経営や事業運営をするために、企業の経営を律するしくみのこと。						
		② 利害関係者に対して、事業内容や財政状態など、さまざまな情報を開示すること。						
③ 法律や条令などを守るため、企業の内部で独自に倫理行動規範を策定するなどのさまざまな取り組みのこと。								

5	(2)	① カ	② イ	③ ケ
2点×5か所 =10点		④ オ	⑤ ウ	
6	(1)	① 体験的	② 知識	③ 円滑
19点	3点×3か所 =9点	私が設定する学習活動は、ポジショニング・マップやSWOT分析などを用いて、ものごとを論理的にとらえたり、分析したりするなどの思考方法を学ばせ、ビジネスの場面を想定した討論などの実習なども行う。 更に、会議や交渉、情報発信などのそれぞれの特徴や状況での対応の仕方などを学ばせ、実習などを体験することで、相手に伝わる話し方などについて実感をもって理解させるようにする。		
	(2)	10点		